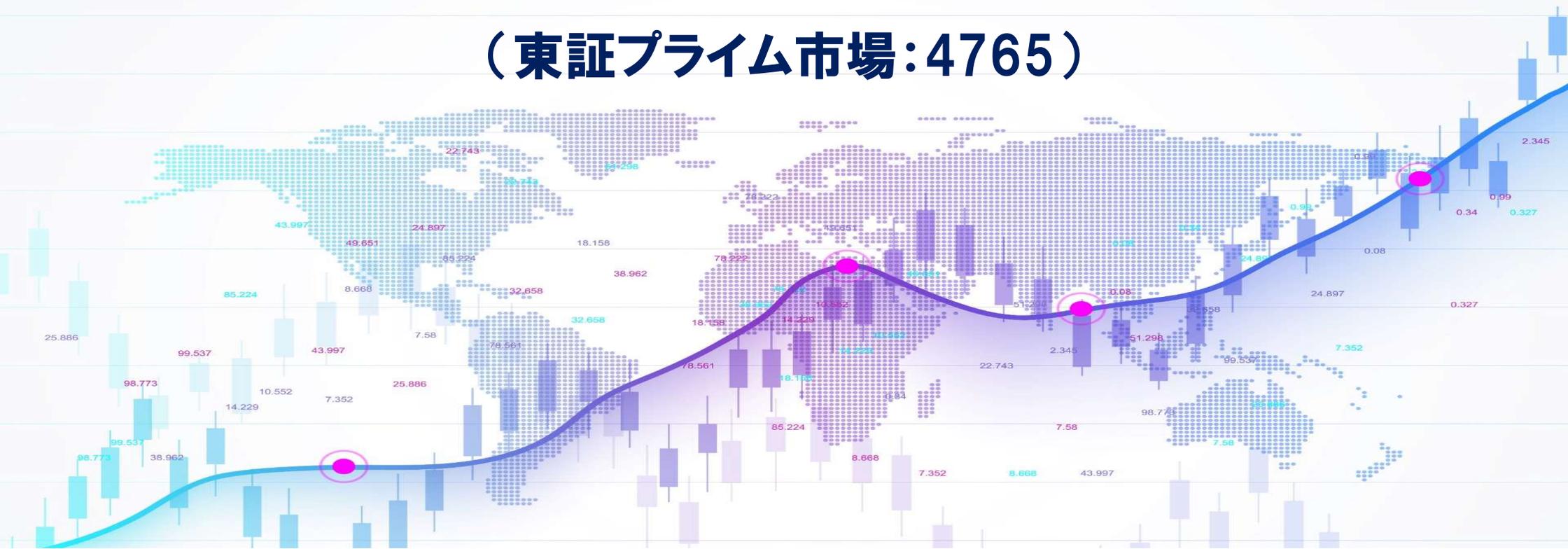


2026年3月期第2四半期決算説明会

SBIグローバルアセットマネジメント株式会社

(東証プライム市場:4765)



2025年10月27日

代表取締役社長 朝倉 智也

**信頼が生んだ16期連続の増益
持続的成長と株主価値の拡大へ**

売上高とすべての利益項目で過去最高を更新

売上高は14期連続の増収

経常利益と当期利益は16期連続の増益

(単位:百万円)

	2025年3月期 第2四半期 (2024年4月～9月)	2026年3月期 第2四半期 (2025年4月～9月)	対前年同期 増減率
売上高	5,738	14期連続 過去最高 7,273	26.8%
営業利益	1,218	6期連続 過去最高 1,416	16.2%
経常利益	1,424	16期連続 過去最高 1,757	23.4%
当期利益 [※]	900	16期連続 過去最高 1,052	16.9%

※ 親会社株主に帰属する中間期純利益

※ SBI岡三アセットマネジメントの2025年9月の1か月分の数値を含む

SBI岡三アセット(1カ月分)を除いても 14期連続の増収・16期連続の増益

積み重ねた持続的成長の証

(単位:百万円)

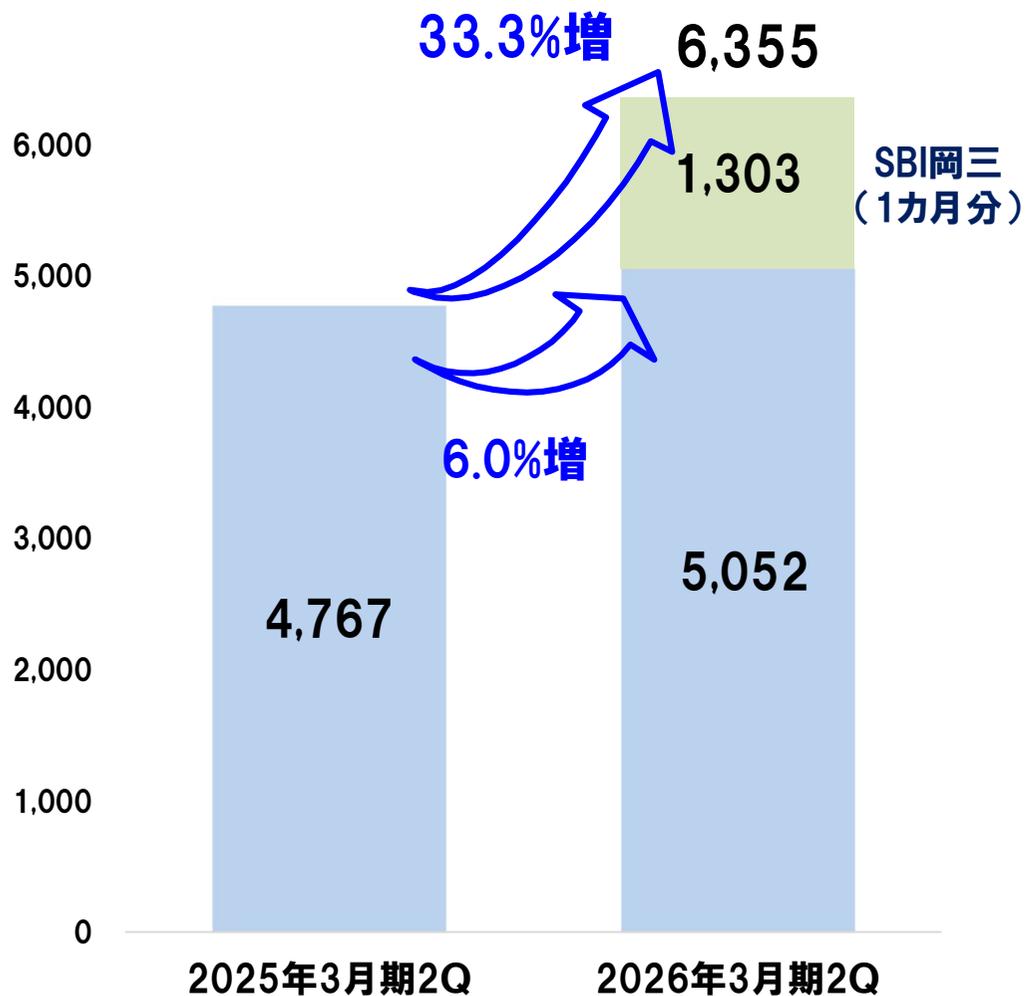
	2025年3月期 第2四半期 (2024年4月~9月)	2026年3月期 第2四半期 (2025年4月~9月)	対前年同期 増減率
売上高	5,738	14期連続 過去最高 5,970	4.0%
営業利益	1,218	6期連続 過去最高 1,257	3.2%
経常利益	1,424	16期連続 過去最高 1,574	10.5%
当期利益 [※]	900	16期連続 過去最高 987	9.6%

※ 親会社株主に帰属する中間期純利益

アセットマネジメント事業は運用残高拡大で堅調に成長、 ファイナンシャル・サービス事業は地銀の オンライン戦略を支えるデータ・ソリューションが拡大

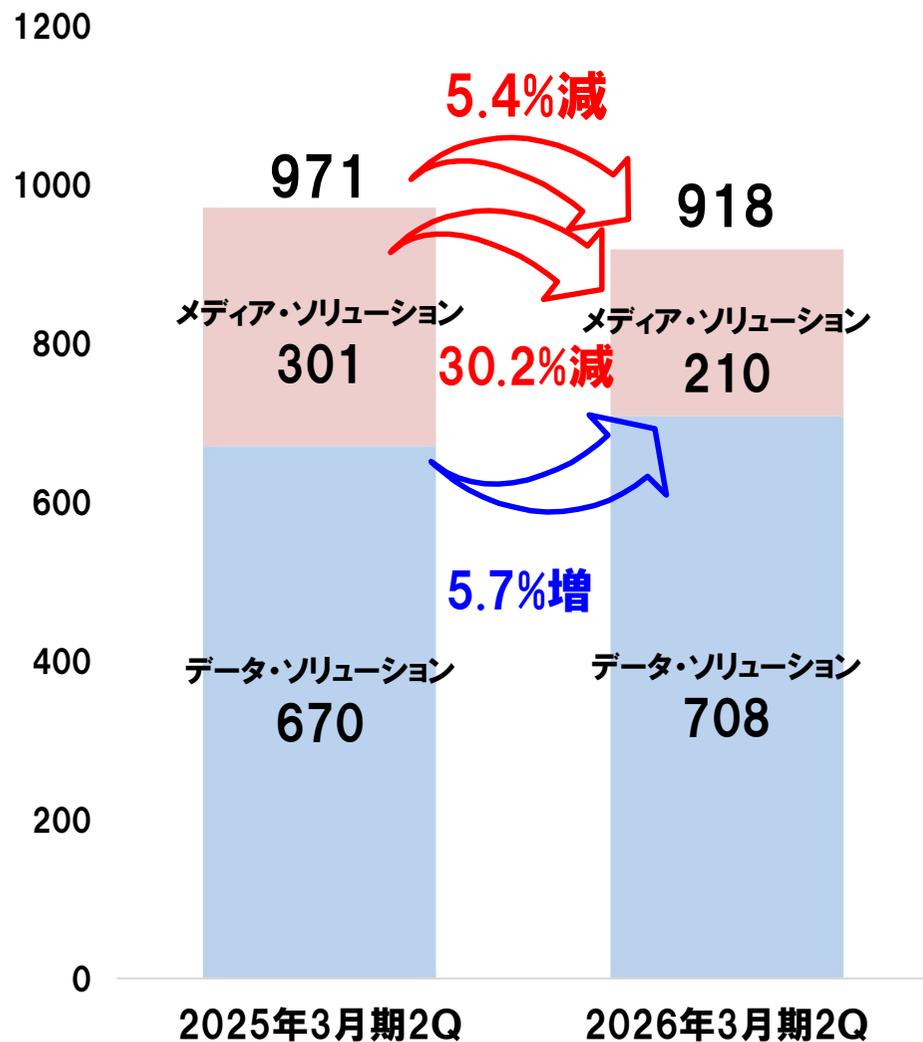
<アセットマネジメント事業の売上高>

(単位:百万円)



<ファイナンシャル・サービス事業の売上高>

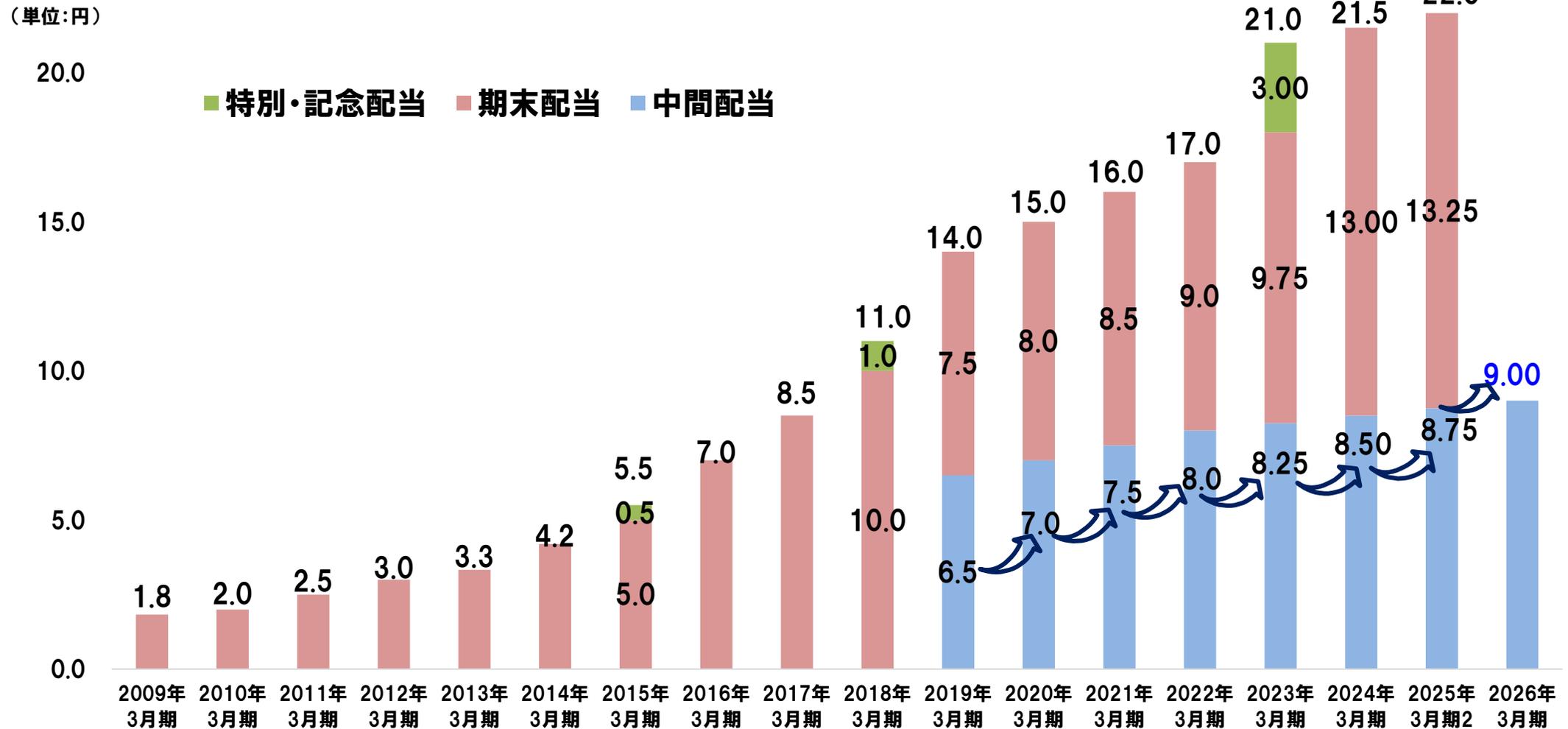
(単位:百万円)



中間期の配当は7期連続の増配

通期の配当は2025年3月期まで16期増配を継続中

中間期の配当金は1株当たり9円00銭



※ 2015年3月期の記念配当は、上場15周年記念配当
※ 2018年3月期の記念配当は、設立20周年記念配当
※ 2023年3月期の特別・記念配当は、ブランド売却による特別利益計上と設立25周年による記念配当

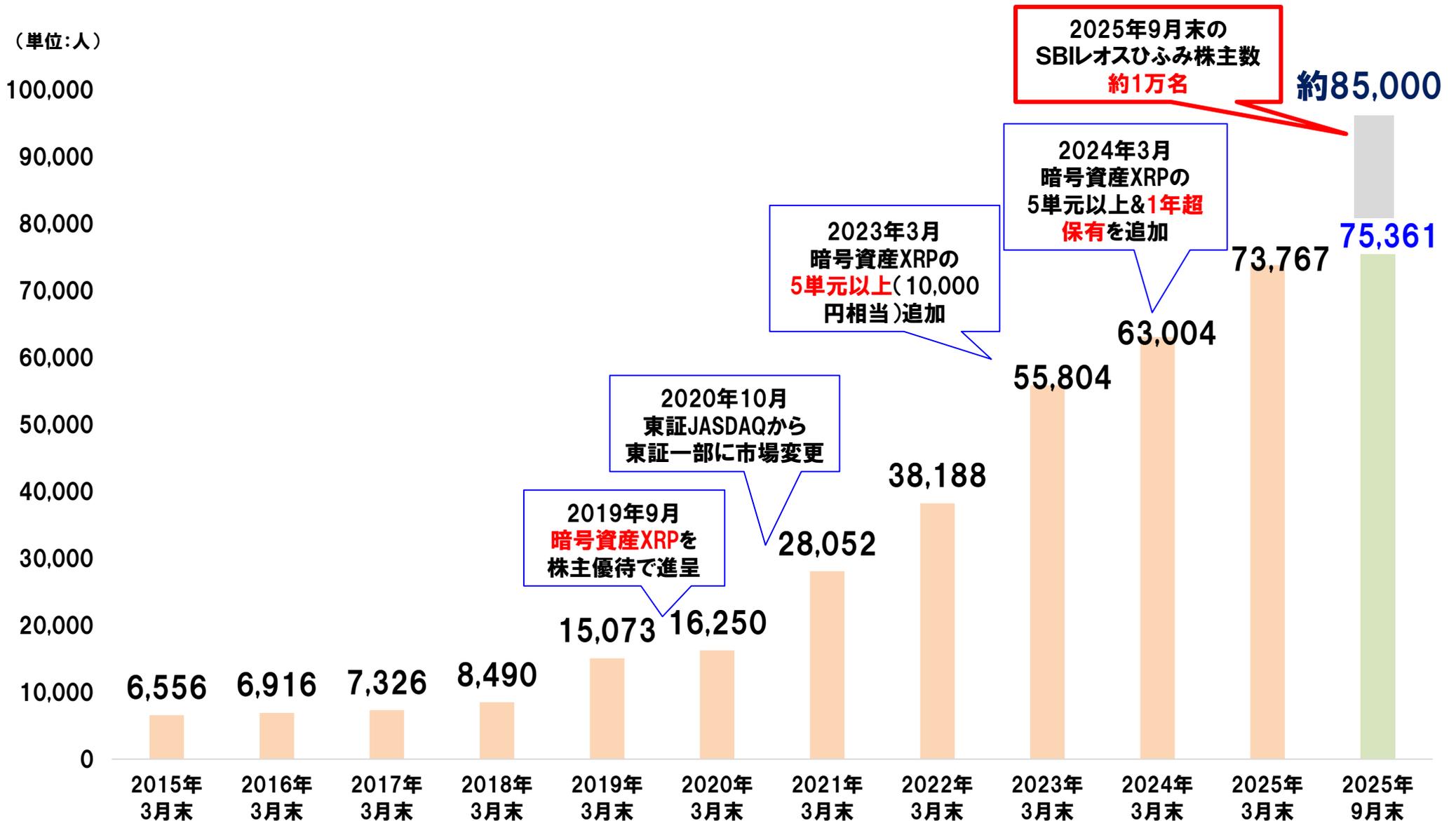
今期の期末株主優待は感謝と進化を込めて更に拡充

保有株式数	保有期間	 XRP 暗号資産: XRP	 投信: ひふみクロスオーバーpro
1单元(100株)以上 5单元(500株)未満	-	2,500円相当	2,500円相当
5单元(500株)以上	1年未満	10,000円相当	
	1年以上	12,000円相当	

<上場25周年記念の株主優待>

保有株式数	保有期間	 XRP 暗号資産: XRP	 アラプラス ゴールドEX
10单元(1,000株)以上	-	+3,000円相当 & 11,880円(定価)	

信頼が広がり株主数は過去最高 積極的な還元が新たな支持を拡大



※ 株主数は議決権のある株主の数、SBILeosひふみの株主数は、2025年9月末基準で3単元以上保有している株主

**市場がまだ気づいていない成長力
新しい資産運用グループの飛躍へ**

資産運用残高20兆円の早期達成に向け グループ内再編で総力結集

SBIグローバルアセットマネジメントを中核に、「資産運用事業」と「投資教育・助言事業」を二本柱として推進し、資産運用残高の加速的拡大と収益率の飛躍的向上を同時に実現する新体制へ



資産運用事業

SBI Okasan Asset Management
SBI岡三アセットマネジメント
アクティブ運用

SBI Asset Management
SBIアセットマネジメント
インデックス中心の
低コストファンド

RHEOS CAPITAL WORKS
レオス・キャピタルワークス
独自のアクティブ運用

Carret Holdings, Inc.
(Carret持株会社)

SBI Okasan Alternative Investment
SBI岡三オルタナティブ・
インベストメント
オルタナティブ投資

SBIオルタナティブ・
インベストメント・マネジメント
適格投資家向投資運用業

RHEOS CAPITAL PARTNERS
レオス・キャピタルパートナーズ
ベンチャーキャピタル

CARRET
Asset Management
Carret Asset
Management LLC
米NYの運用会社

投資教育・助言事業

WEALTH ADVISOR
ウェルスアドバイザー
(旧モーニングスター)
投資助言 &
投資情報の提供

FINUP
フィナップ
金融・経済・
投資教育事業

資産運用メディア

株式新聞

お金のまなびば!
ENERGY = ownership + time + money + decision + luck

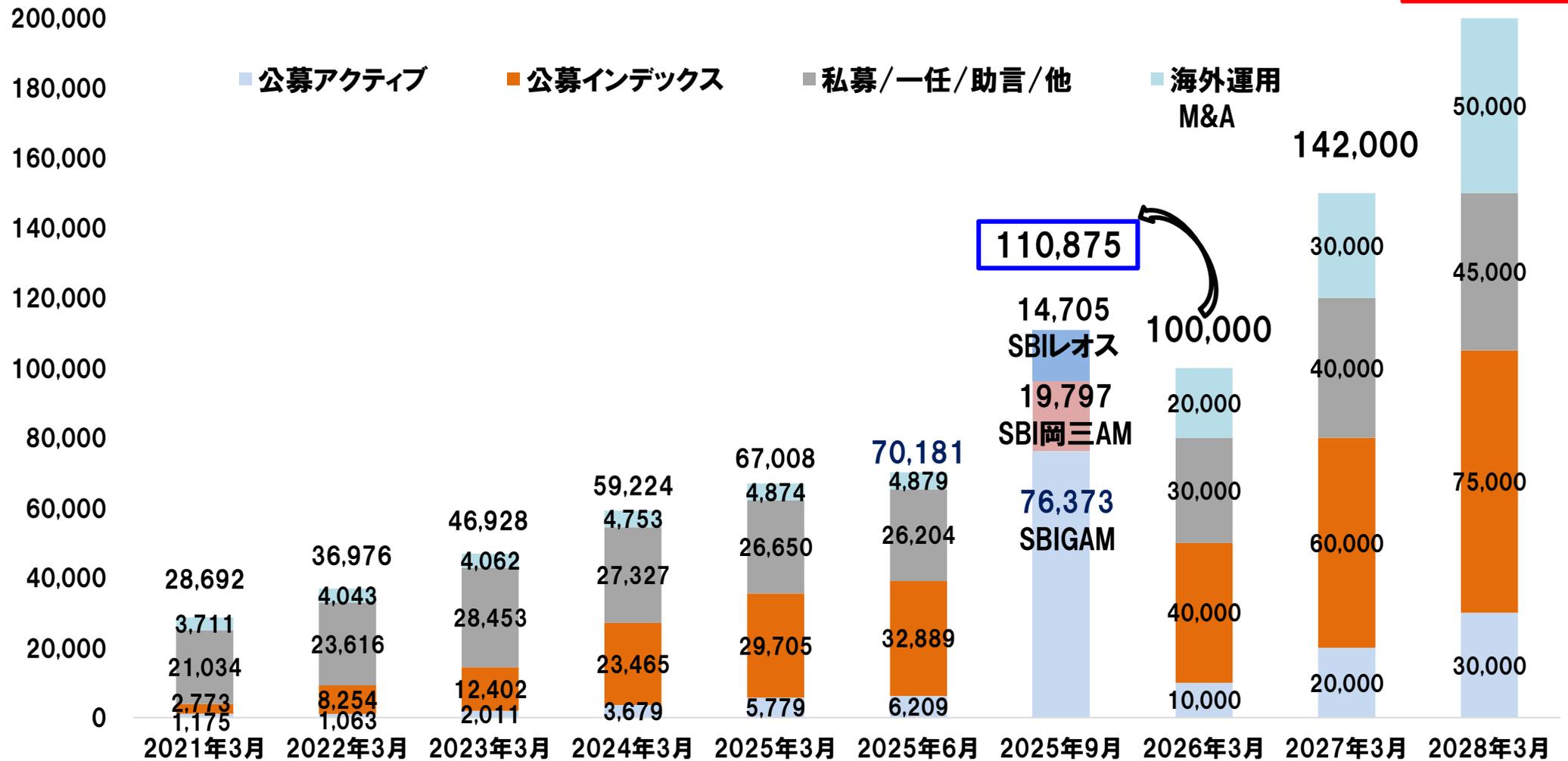


2025年12月1日付

20兆円突破のその先へ 拡大する運用残高と飛躍する収益力

2026年3月末の当初目標は、すでに達成
想定を上回るペースで次の成長フェーズへ

(単位: 億円)



当初の目標数値

統合効果は鮮明 一株当たり利益は大幅に増加

(単位:百万円)

2025年3月基準の 連結売上高と利益	SBIグローバル アセットマネジメント	SBI岡三アセット マネジメント	SBIレオスひふみ	合計
売上高	11,569	13,157	11,424	36,150
営業利益	2,269	1,808	2,070	6,147
経常利益	2,565	1,877	2,069	6,511
当期利益	1,670	1,239	1,485	4,394
非支配株主に帰属する 当期利益	23 (2.1%※)	607 (49%※)	-	630
親会社株主に帰属する 当期利益	1,647	632	1,485	3,764

※当社子会社の外部株主持分比率

発行済み株式数

<2025年3月末>
89,673,600株

<2025年12月1日想定>
137,970,999株

2.28倍

54%増

50%増

一株当たり利益
(EPS)

18円

27円

米国の主要資産運用会社と金融情報ベンダーのバリュエーション

	PER(倍)
① 資産運用会社全体の平均	44.5
プライベートアセット中心(ブラックストーン・KKRなど)	<51.5>
② 金融情報ベンダー全体の平均	31.9
S&Pグローバル、モーニングスターなど	
<① 資産運用会社+ ②金融情報ベンダー>の平均	38.2
SBIグローバルアセットマネジメント	31.6

米国同業並みのバリュエーションで算出した 当社の想定株価と時価総額

米国の主要資産運用会社と
金融情報ベンダーの平均バリュエーション

PER(倍) = 38.2

30倍 ×

35倍 ×

2025年3月期基準の
一株当たり当期利益
<統合後の株数:約138百万株>

EPS: 27円

2025年3月期基準の
連結当期利益

3,764百万円

想定株価

810円

想定時価総額

約1,130億円

想定株価

945円

想定時価総額

約1,320億円

- 潤沢な資金と高い資本効率 -

次の成長投資を支える財務力

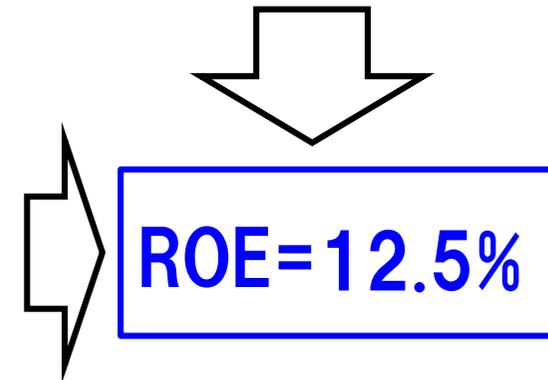
	(百万円)	SBIグローバルアセットマネジメント		SBIレオスひふみ ②	合計 ①+②
		①	<うちSBI岡三 アセット>		
資産	現預金	17,365	13,612	2,592	19,957
	投資有価証券	10,148	2,254	341	10,489
	現預金 & 投資有価証券	27,513	15,866	2,933	30,446
純資産	純資産	23,533		6,571	30,105

※SBIグローバルアセットは2025年9月末、SBIレオスひふみは直近開示の2025年6月末

(百万円)

	SBIグローバル アセットマネジメント	SBI岡三アセット マネジメント	SBIレオス ひふみ	合計
親会社株主に 帰属する当期利益	1,647	632	1,485	3,764

※親会社株主に帰属する当期利益は、2025年3月末基準



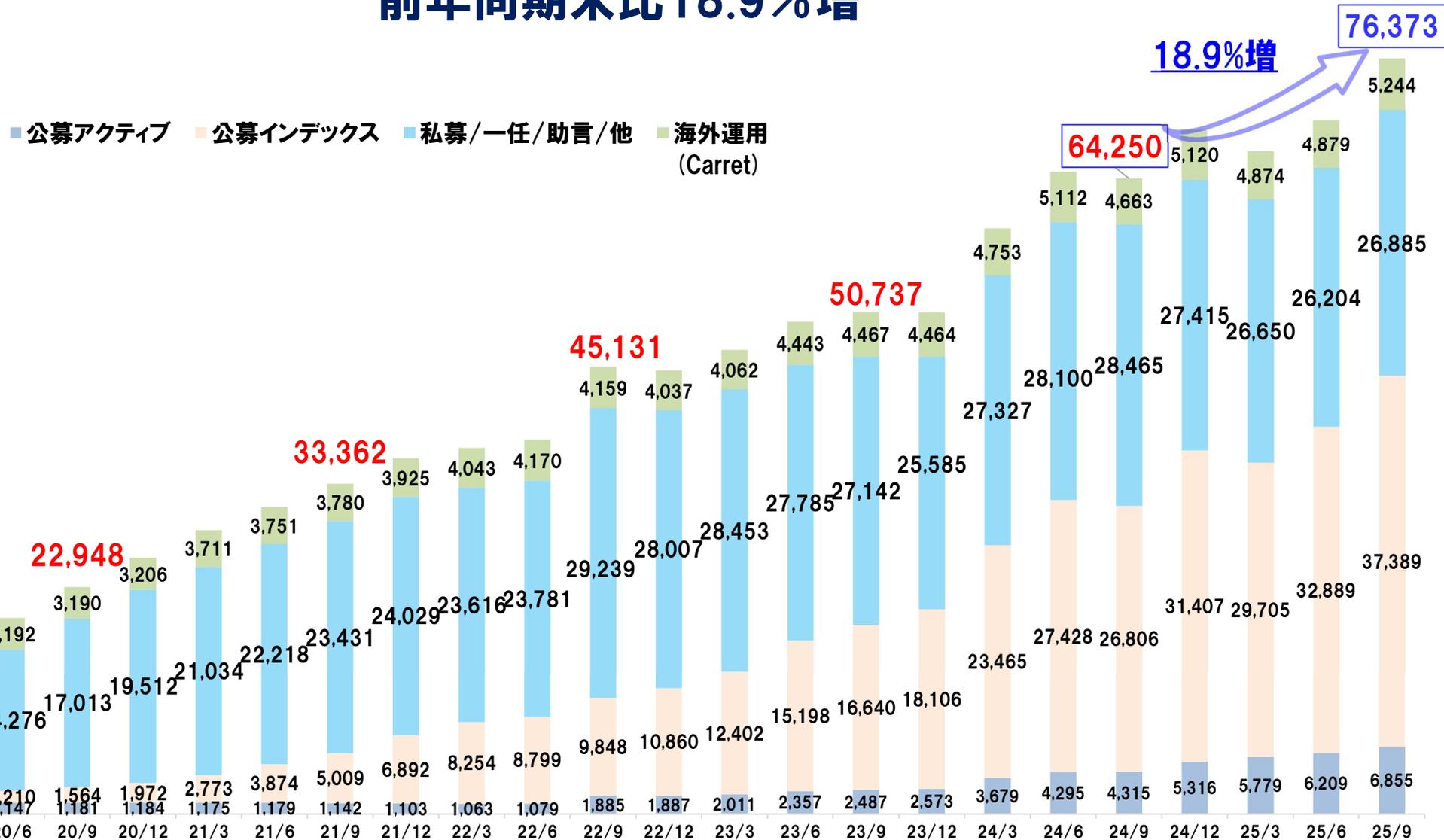
資産運用残高拡大に向けた新商品戦略

拡大を続けるSBIグローバルアセットの運用残高



(単位:億円)

前年同期末比18.9%増

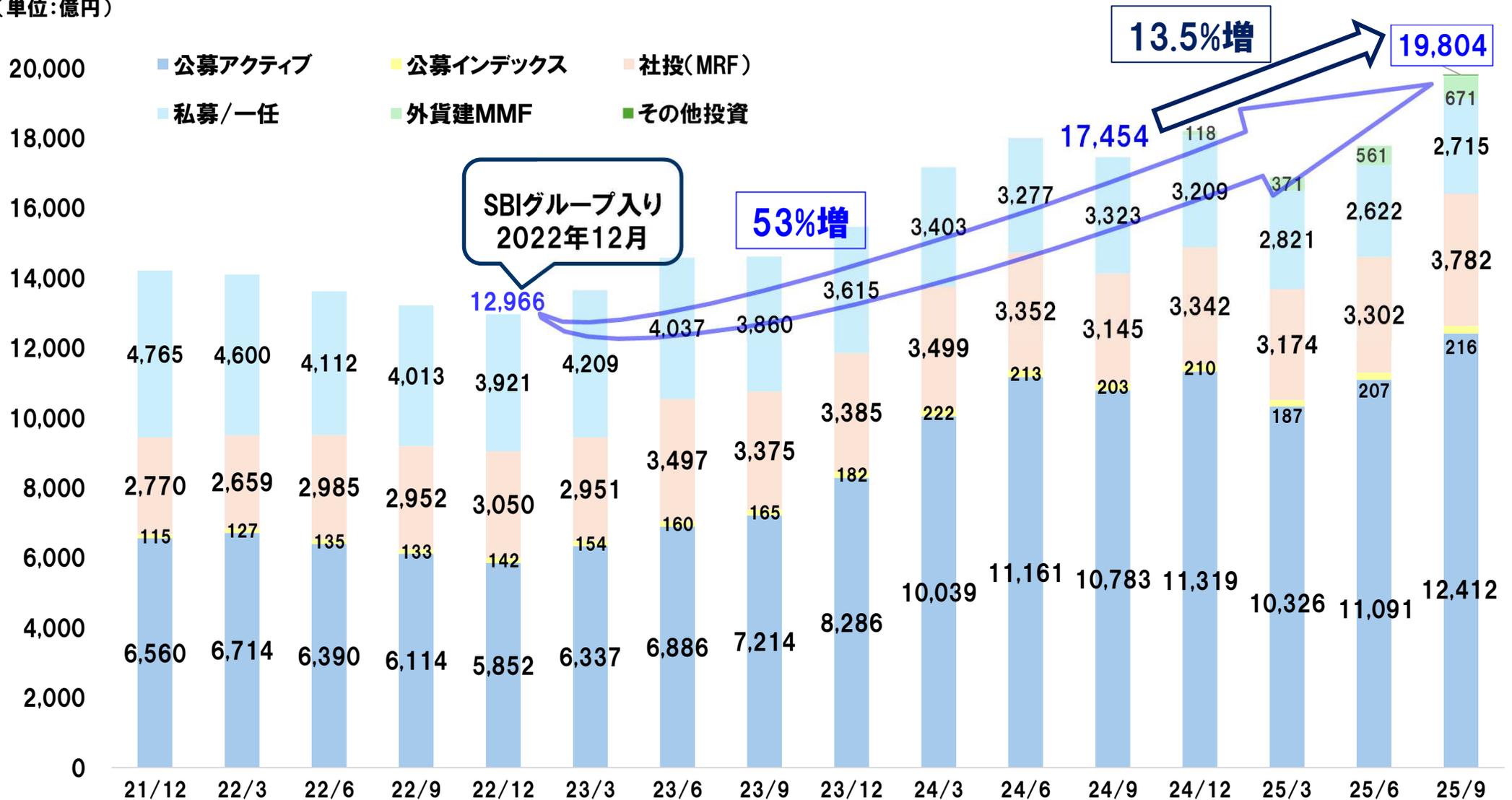


SBIグループ入り後のSBI岡三アセットの運用残高は53%増の拡大

前年同期末比13.5%増

(単位: 億円)

- 公募アクティブ
- 公募インデックス
- 社投(MRF)
- 私募/一任
- 外貨建MMF
- その他投資

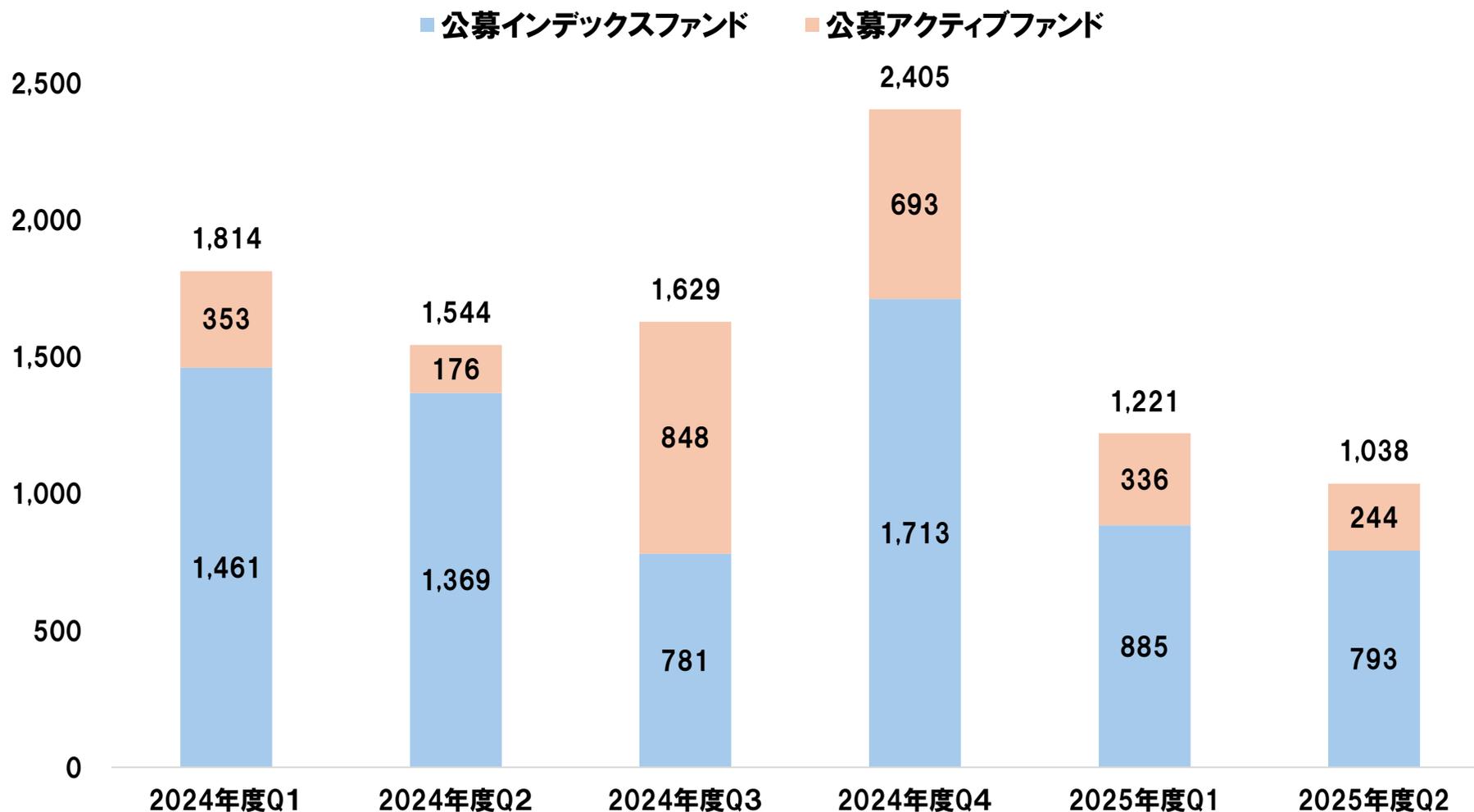


- 安定した純資金流入が成長を支える -

SBIアセットの公募投信は、毎四半期1,000億円超を維持

SBIアセットマネジメントの公募投信の純資金流入額

(単位:億円)



投資家を選ぶ賢い分散 低コストで堅実な資産形成を実現

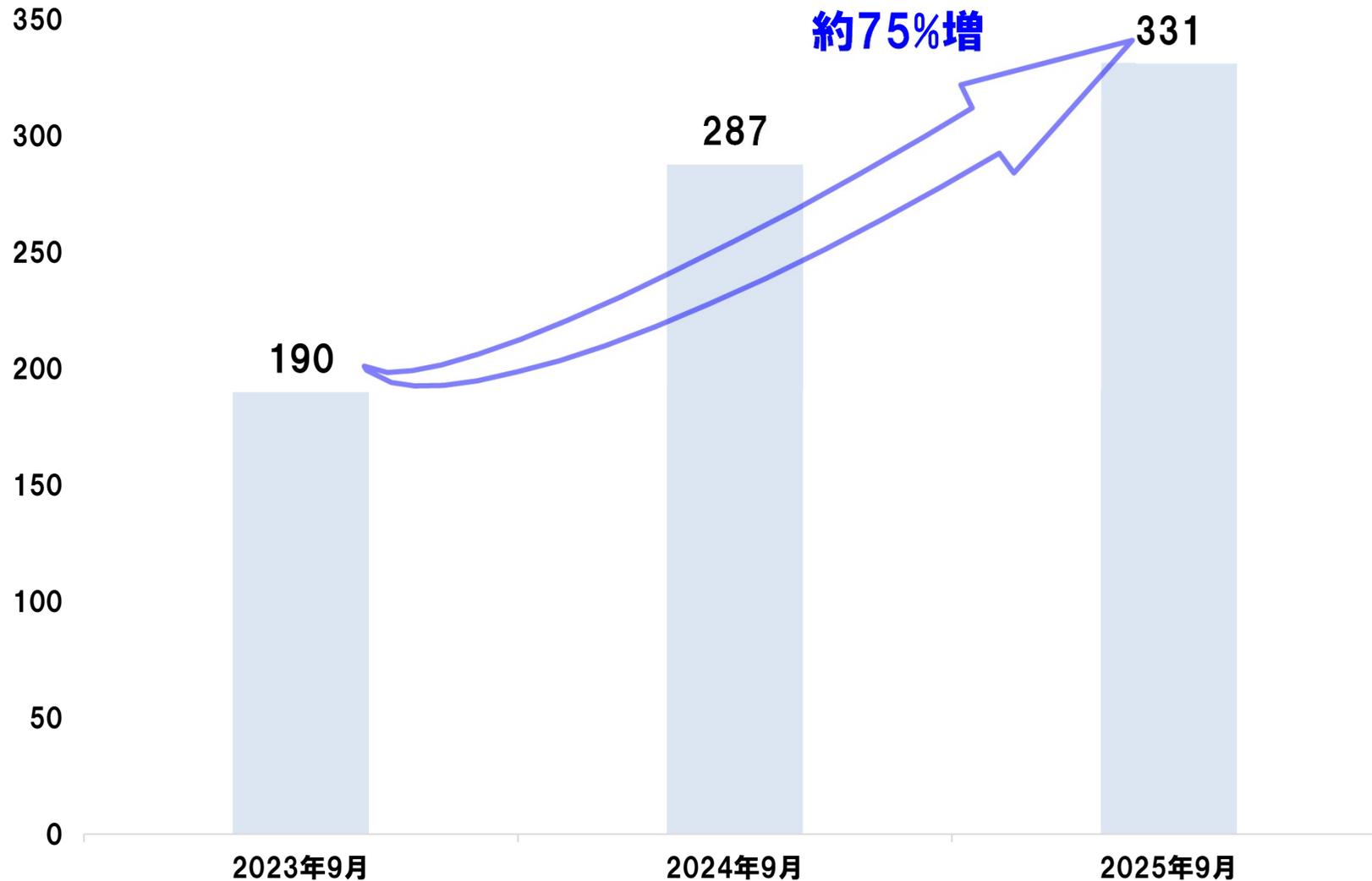
SBIアセットの純資金流入TOP5ファンド (2024年4月～2025年9月、四半期ベース)

2024年1Q (24年4月～6月)		2024年2Q (24年7月～9月)		2024年3Q (24年10月～12月)		2024年4Q (25年1月～3月)		2025年1Q (25年4月～6月)		2025年2Q (25年7月～9月)	
(百万円)		(百万円)		(百万円)		(百万円)		(百万円)		(百万円)	
ファンド名	純資金 流入額	ファンド名	純資金 流入額	ファンド名	純資金 流入額	ファンド名	純資金 流入額	ファンド名	純資金 流入額	ファンド名	純資金 流入額
1 SBI・V・S&P500 インデックス・ ファンド	78,219	1 SBI・V・S&P500 インデックス・ ファンド	64,356	1 SBI・S・米国高配 当株式ファンド (年4回決算型)	72,646	1 SBI・V・S&P500 インデックス・ ファンド	83,171	1 SBI・V・S&P500 インデックス・ ファンド	49,125	1 SBI・iシェアーズ・ ゴールドファンド (為替ヘッジなし)	42,370
2 SBI 日本高配当 株式(分配)ファンド (年4回決算型)	14,690	2 SBI・全世界株式 インデックス・ ファンド	10,256	2 SBI・V・S&P500 インデックス・ ファンド	53,935	2 SBI・S・米国高配当 株式ファンド (年4回決算型)	55,155	2 SBI・S・米国高配当 株式ファンド (年4回決算型)	25,543	2 SBI・V・S&P500 インデックス・ ファンド	25,021
3 SBI・iシェアーズ・ インド株式 インデックス・ ファンド	12,206	3 SBI-Man リキッド・ トレンド・ファンド	9,659	3 SBI 全世界高配当 株式ファンド (年4回決算型)	9,209	3 SBI・iシェアーズ・ ゴールドファンド (為替ヘッジなし)	24,340	3 SBI・iシェアーズ・ ゴールドファンド (為替ヘッジなし)	16,340	3 SBI・全世界株式 インデックス・ ファンド	9,240
4 SBI・全世界株式 インデックス・ ファンド	11,224	4 SBI 日本高配当 株式(分配)ファンド (年4回決算型)	8,878	4 SBI・全世界株式 インデックス・ ファンド	8,128	4 SBI・全世界株式 インデックス・ ファンド	9,822	4 SBI・全世界株式 インデックス・ ファンド	9,422	4 SBI・S・米国高配当 株式ファンド (年4回決算型)	6,149
5 SBI・V・全米株式 インデックス・ ファンド	8,917	5 SBI・iシェアーズ・ インド株式 インデックス・ ファンド	7,262	5 SBI・iシェアーズ・ ゴールドファンド (為替ヘッジなし)	7,465	5 SBI・V・全米株式 インデックス・ ファンド	8,477	5 SBI 日本高配当 株式(分配)ファンド (年4回決算型)	6,874	5 SBI 日本高配当 株式(分配)ファンド (年4回決算型)	4,485

- 拡大する顧客基盤 -

SBIアセットマネジメントの受益者数は 2年で約75%増加し、330万人突破

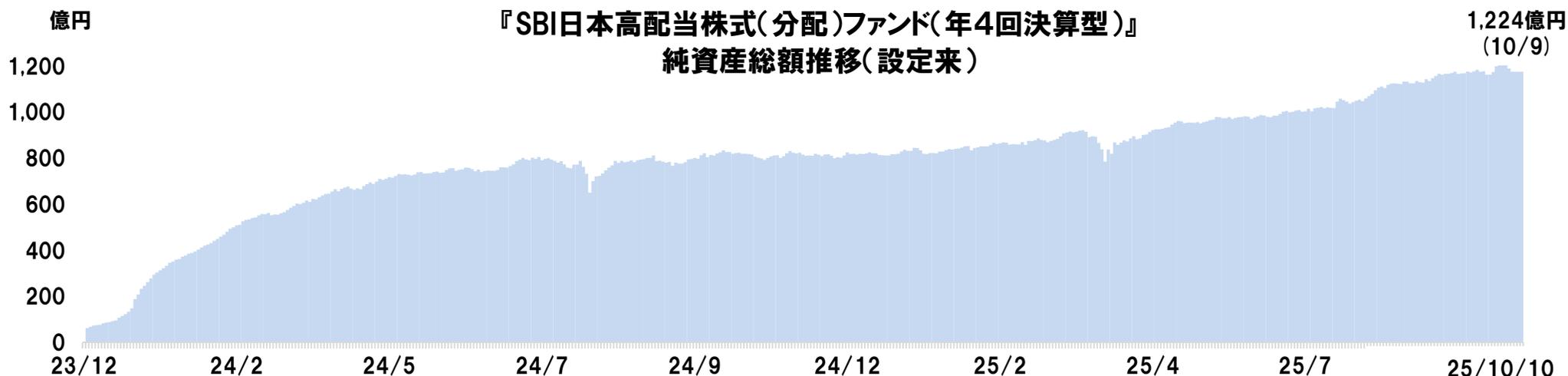
(単位:万人)



- 安定運用と高実績 -

「SBI日本高配当株式ファンド」の強みが際立つ

信託報酬の年0.099%は国内株式型ファンドの中で最安※1



平均利回り※3: 3.68%

設定来パフォーマンス比較※2 2023年12月12日～2025年10月10日		
	騰落率	差
本ファンド	45.52%	-
TOPIX配当込み	42.18%	3.34%
日経高配当株50TR	40.84%	4.68%
同種ファンド業界平均	45.31%※	3.39%※

※同種ファンド平均と差は10/9現在

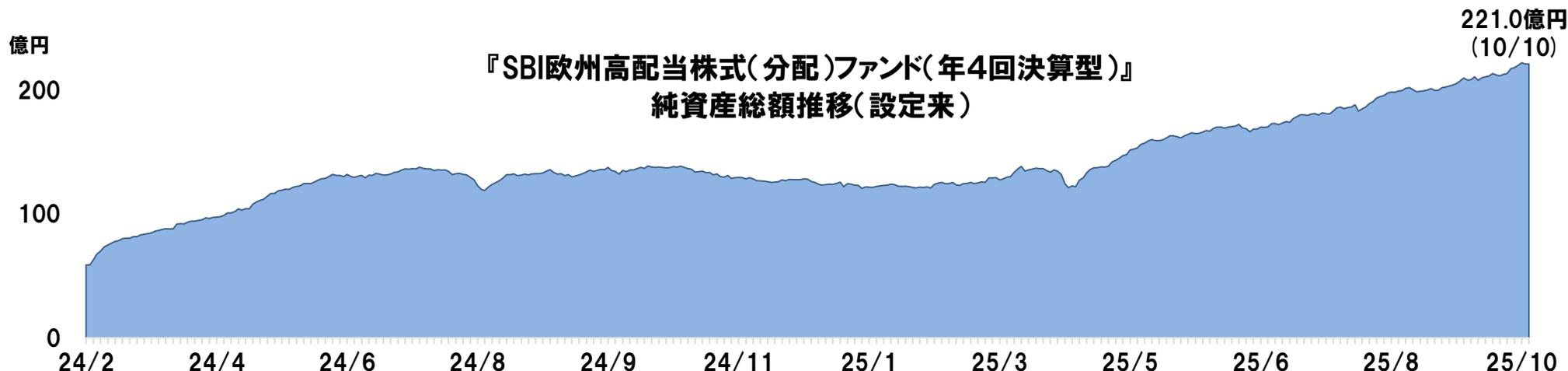
分配金推移 (1万口当り・課税前)	
2024/4/10	140円
2024/7/10	140円
2024/10/10	140円
2025/1/10	140円
2025/4/10	110円
2025/7/10	120円
2025/10/10	130円
7回合計	920円

※1: 公募投信 (ETF、DC・SMA専用ファンドを除く) において、ウエルスアドバイザー株式会社調べ(2025年9月30日現在)
 ※2: 公募投信において、ウエルスアドバイザー株式会社の情報を基にSBIアセットマネジメント株式会社作成(2025年10月10日現在)
 ※3: 設定後の分配のうち10月10日現在の分配金落ち前の基準価額13,591円に対する過去1年間(直近4回)の比率

- 欧州株ファンドで際立つ存在 -

『SBI欧州高配当株式ファンド』は最安コスト&高パフォーマンス

信託報酬の年0.099%は欧州株式型ファンドの中で最安※1



平均分配率※3: 6.14%

設定来パフォーマンス比較※2		
2024年2月28日~2025年10月10日		
	騰落率	差
本ファンド	30.75%	-
STOXX欧州50	26.30%	4.46%

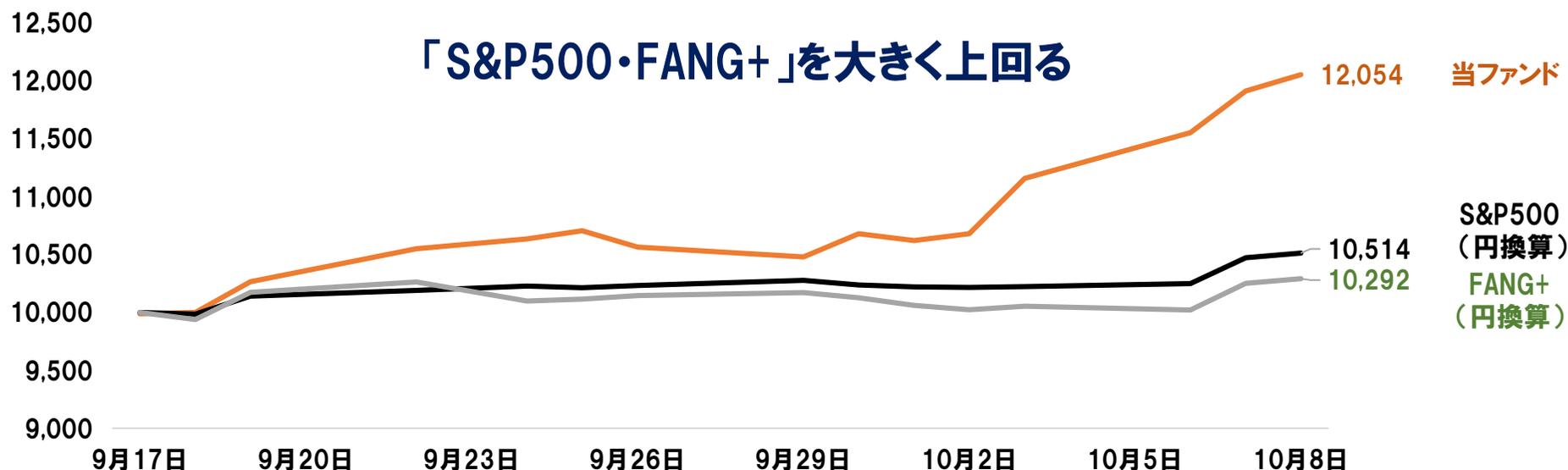
分配金推移 (1万口当り・課税前)	
2024/6/20	160円
2024/9/20	140円
2024/12/20	140円
2025/3/21	155円
2025/6/20	160円
2025/9/22	170円
6回合計	925円

※1: 公募投信 (ETF、DC・SMA専用ファンドを含む) において、ウエルスアドバイザー株式会社調べ(2025年9月30日現在)

※2: SBIアセットマネジメント株式会社調べ(2025年10月10日現在)

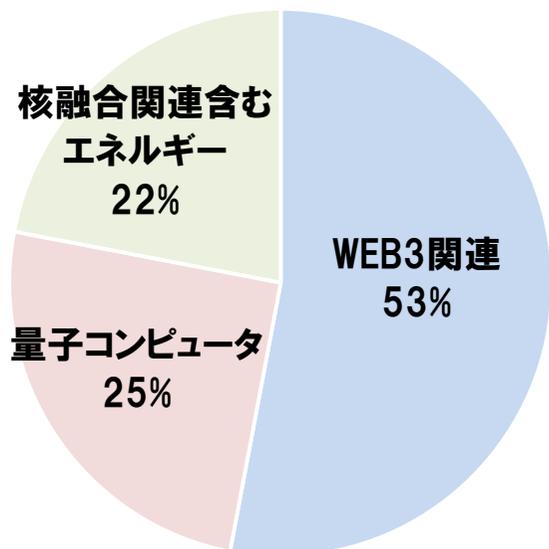
※3: 9月22日現在の分配金落ち前の基準価額11,576円に対する過去1年間(直近4回)の分配率を海外源泉税(12%想定)控除前に換算した比率

「SBI次世代テクノロジー戦略ファンド」は 設定来1か月弱で20%超のパフォーマンス



※ 2025年9月17日(ファンド設定日)を10,000円～10月8日まで S&P500、FANG+は円換算

セクター別の構成比



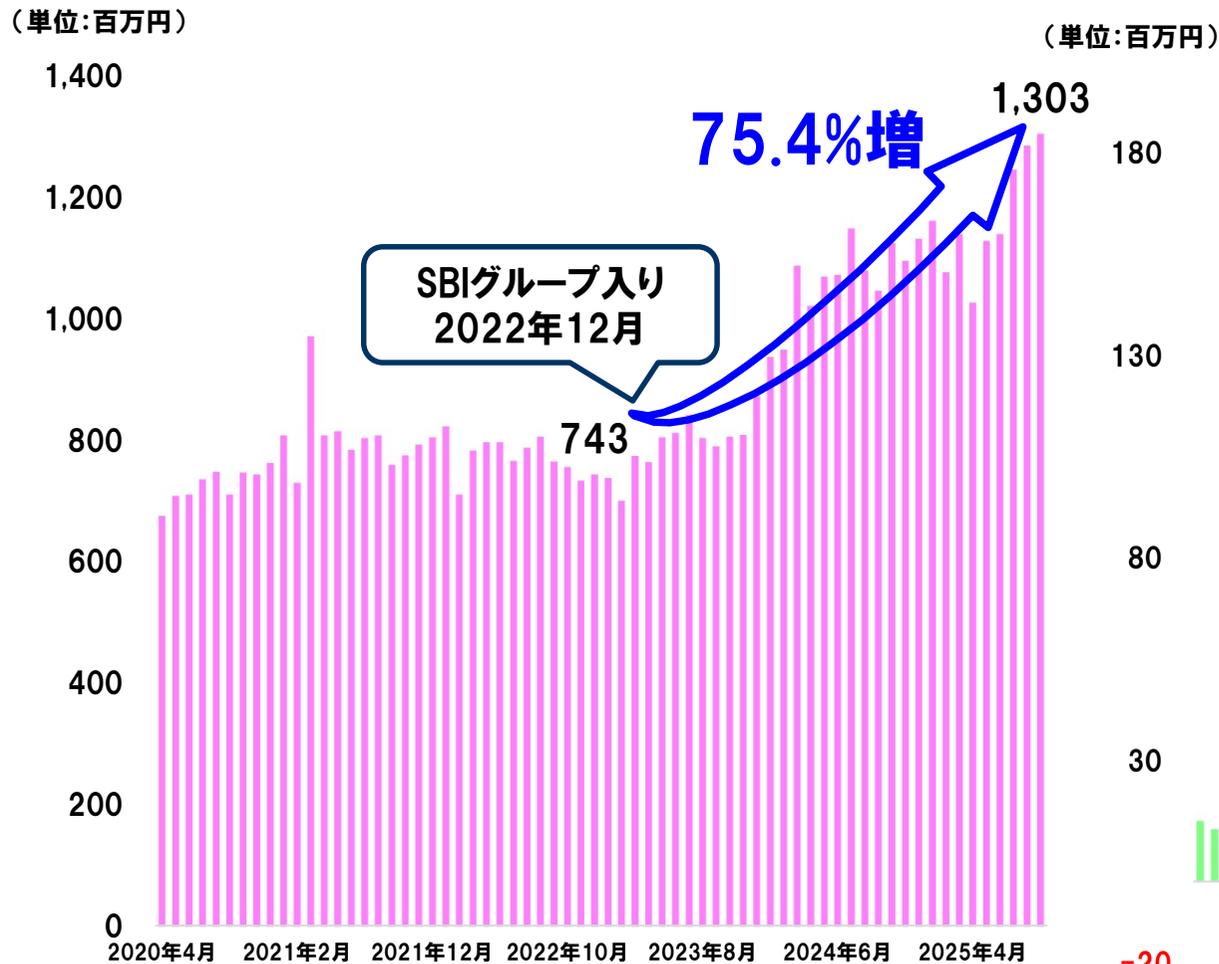
上昇率の上位銘柄

ティッカー	銘柄名	セクター	上昇率
RGTI	リゲッティ・コンピューティング	量子コンピュータ	165.6%
CAN	カナン	Web3	131.3%
QBTS	Dウェーブ・クオンタム	量子コンピュータ	98.8%
IREN	アイ・アー・イー・エン	Web3	91.0%
APLD	アプライド・デジタル	Web3	83.9%

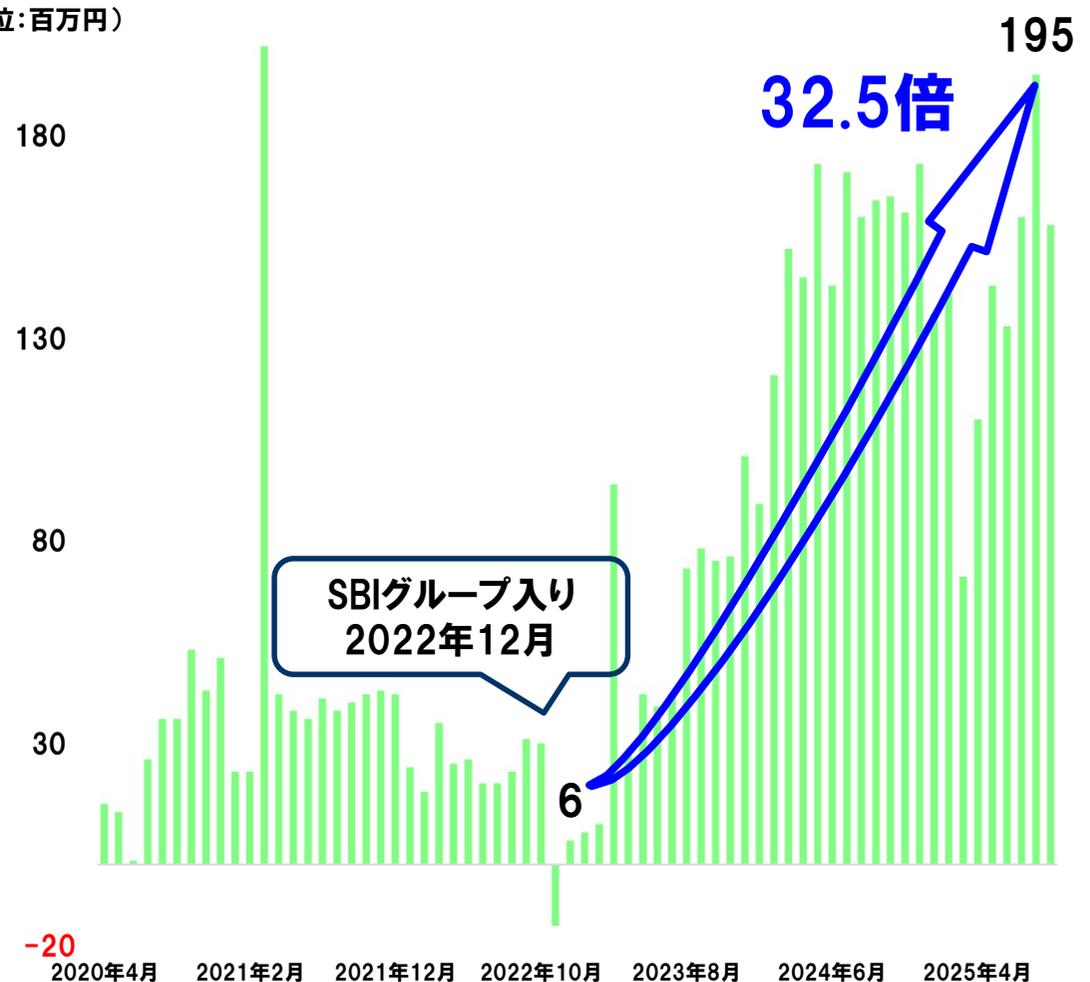
- SBIとのシナジーが生んだ急成長 -

SBIグループ入り後のSBI岡三アセットの 月次売上高75%増・利益32倍

SBI岡三アセットの売上高の推移



SBI岡三アセットの営業利益の推移



「ROBROPROファンド」が牽引する成長軌道 SBI岡三アセットの新たな象徴へ

SBI岡三アセットの純資金流入TOP5ファンド (2024年4月～2025年9月、四半期ベース)

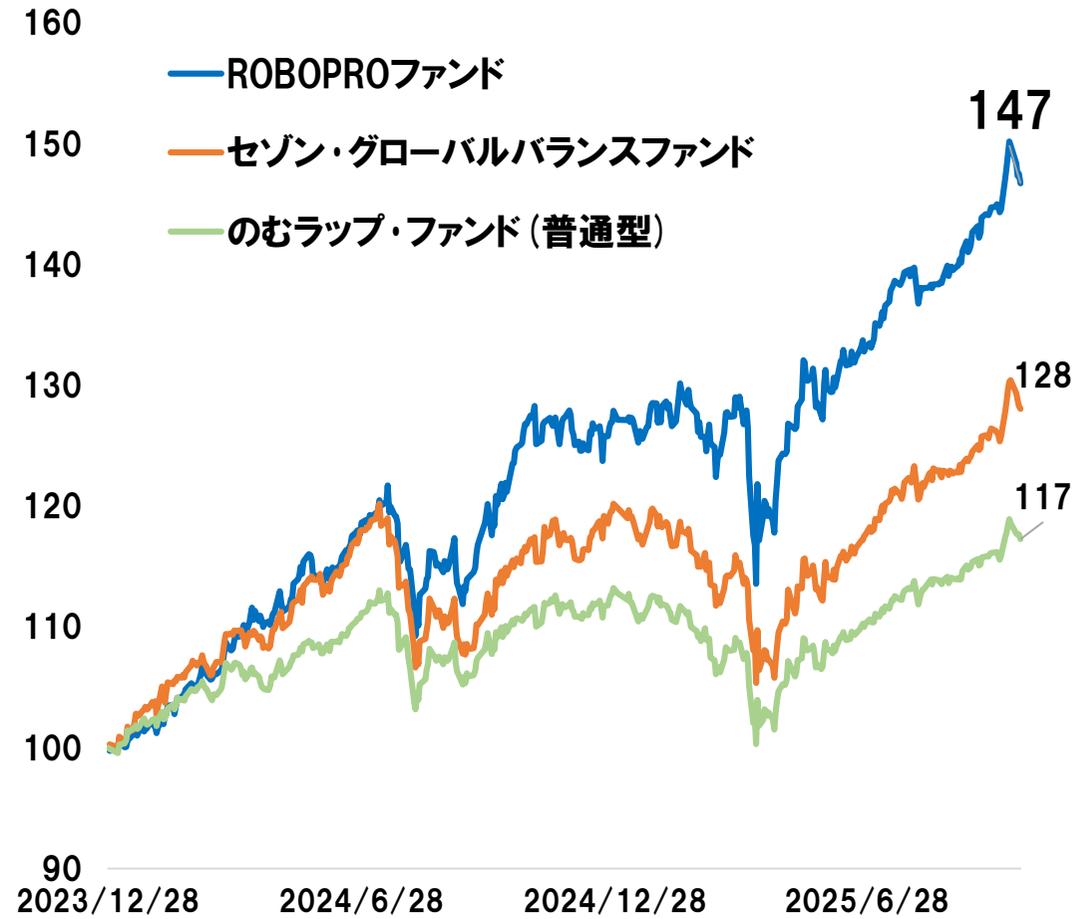
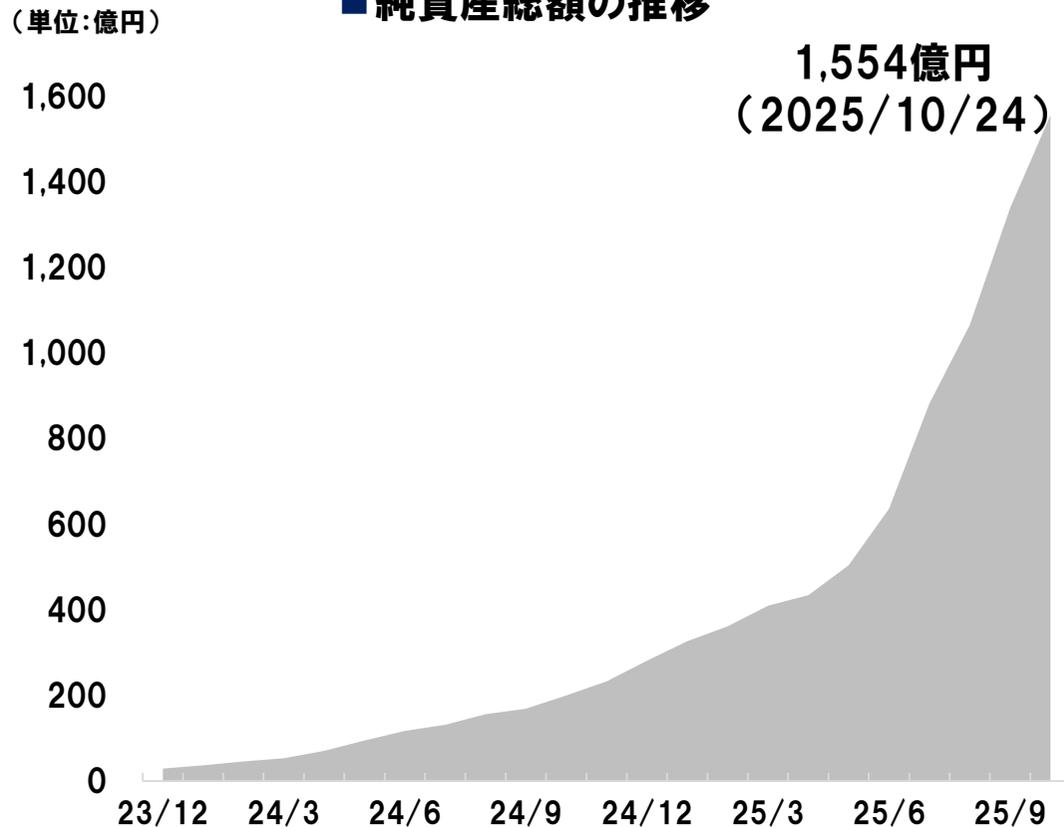
2024年1Q (24年4月～6月)		2024年2Q (24年7月～9月)		2024年3Q (24年10月～12月)		2024年4Q (25年1月～3月)		2025年1Q (25年4月～6月)		2025年2Q (25年7月～9月)	
(百万円)		(百万円)		(百万円)		(百万円)		(百万円)		(百万円)	
ファンド名	純資金 流入額	ファンド名	純資金 流入額	ファンド名	純資金 流入額	ファンド名	純資金 流入額	ファンド名	純資金 流入額	ファンド名	純資金 流入額
1 世界半導体関連 フォーカスファンド	37,453	1 アジア半導体関連 フォーカスファンド	26,077	1 アメリカ国家戦略 関連株ファンド	9,837	1 アメリカ国家戦略 関連株ファンド	14,609	1 ROBOPRO ファンド	19,773	1 ROBOPRO ファンド	62,456
2 日本好配当 リバランスオープンII	34,685	2 世界半導体関連 フォーカスファンド	13,584	2 ROBOPRO ファンド	9,736	2 ROBOPRO ファンド	13,016	2 次世代AI株式 戦略ファンド	11,930	2 次世代AI株式 戦略ファンド	28,162
3 シン・インド 割安成長株ファンド	13,770	3 日本好配当 リバランスオープンII	11,445	3 オール・カン トリー好配当 リバランス オープン (年4回決算型)	7,258	3 インド・ イノベーション・ フォーカス ファンド	4,690	3 インド・ イノベーション・ フォーカス ファンド	4,399	3 ジャパン・ク リエイティブ コンテンツ 関連株 ファンド	10,354
4 米国好配当 リバランスオープン (年4回決算型)	9,690	4 米国好配当 リバランスオープン (年4回決算型)	7,961	4 米国好配当 リバランスオープン (年4回決算型)	4,124	4 オール・カン トリー好配当 リバランス オープン (年4回決算型)	4,525	4 オール・カン トリー好配当 リバランス オープン (年4回決算型)	3,769	4 オール・カン トリー好配当 リバランス オープン (年4回決算型)	3,836
5 ROBOPRO ファンド	5,672	5 シン・インド割安成 長株ファンド	7,644	5 シン・インド割安成 長株ファンド	4,029	5 米国好配当 リバランスオープン (年4回決算型)	2,555	5 米国好配当 リバランスオープン (年4回決算型)	2,845	5 インド・ イノベーション・ フォーカス ファンド	1,533

圧倒的なパフォーマンスを誇るAI運用 「ROBROPROファンド」が市場をリード

設定来1年10カ月で
純資産1,500億円を突破

設定来のトータルリターンは47%

■純資産総額の推移



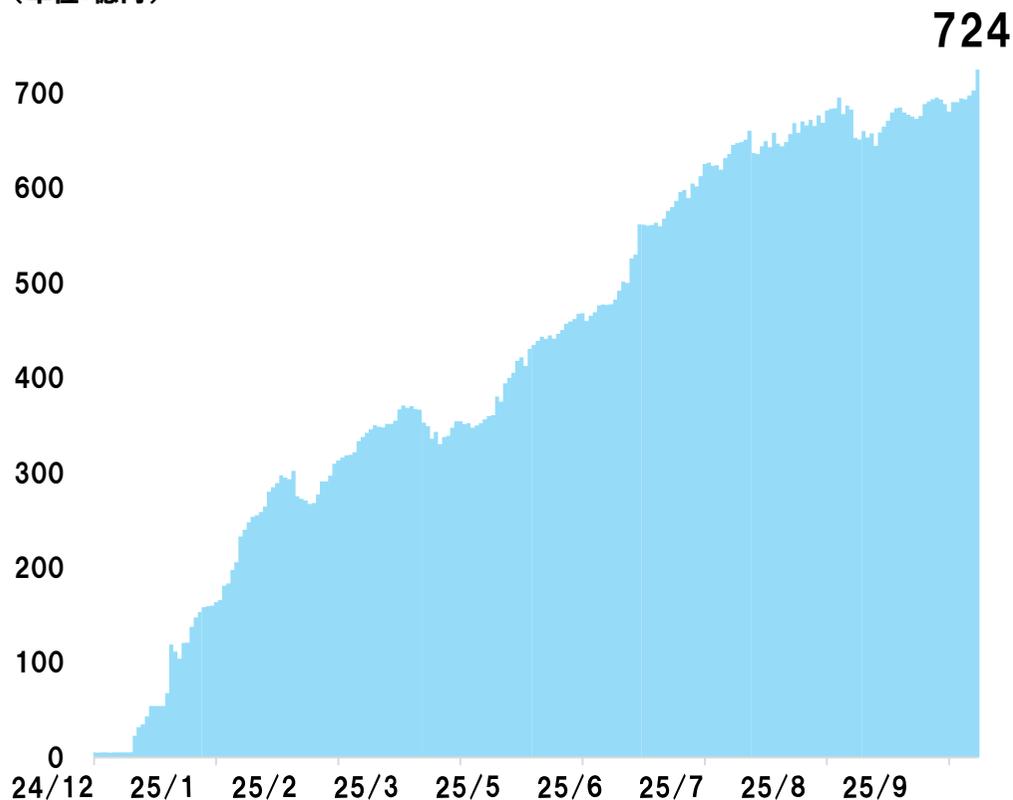
※期間:2023年12月28日(当ファンド設定日)~2025年10月24日

※期間:2023年12月28日(当ファンド設定日)~2025年9月末現在
※設定来トータルリターン:分配金再投資基準価額ベース

業界最高利回りのSBI岡三アセットの 「外貨建MMF(米ドル)」は設定来10か月で700億円突破

<運用残高推移>

(単位:億円)



<運用利回り>

運用会社	利回り (%)
SBI岡三アセット	3.7646
ブラックロック	3.6980
ゴールドマンサックス	3.6720
ノムラ・グローバル	3.4420
ニッコウ	3.4670

※ 運用残高: 2024年12月3日(当ファンド設定日) ~ 2025年10月24日

※ 利回りは、直近7日間(計算期間: 2025/10/18 ~ 2025/10/24)の運用実績の年換算利回り(税引前)

グループ内再編による機能集約と 効率化で収益力を強化

「SBIグローバルアセット」と「SBイレオスひふみ」の合併

9月30日、SBイレオスひふみ株式会社との合併を発表

SBイレオスひふみの株式1株に対して、SBIGAMの株式 0.36 株を割当て交付

 SBI Global Asset Management

証券コード:4765

 SBイレオスひふみ

証券コード:165A



 SBI Global Asset Management

証券コード:4765

臨時株主総会開催日(SBイレオスひふみ)	2025年11月20日
臨時株主総会開催日(当社)	2025年11月21日
最終売買日(SBイレオスひふみ)	2025年11月26日(予定)
上場廃止日(SBイレオスひふみ)	2025年11月27日(予定)
合併の効力発生日	2025年12月1日(予定)

運用会社3社による業務連携の推進-(1)

ミドル・バックオフィス業務の共通化・統合・効率化に向けて

【第1段階】 ミドル・バックオフィス基盤の共通化

- ・投信計理、リスク管理、コンプライアンスなどの業務プロセスを標準化
- ・総務・経理・システム等のインフラを統合し、共通基盤を構築



【第2段階】 業務集約化に向けた受託会社の設立検討

- ・AIを活用したデジタルトランスフォーメーションを推進
- ・人員の最適配置と業務効率化を図るため、業務受託会社の設立を検討



【第3段階】 当グループ外の運用会社へのサービス提供・業務受託の拡大

- ・当グループ外の運用会社への支援を通じ、資産運用業界全体の生産性向上に貢献

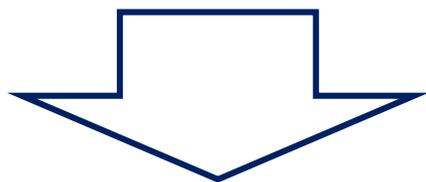
運用会社3社による業務連携の推進-(2) 公募投信における販売チャネル戦略

グループ横断でのチャネル多様化により、顧客層の裾野が拡大

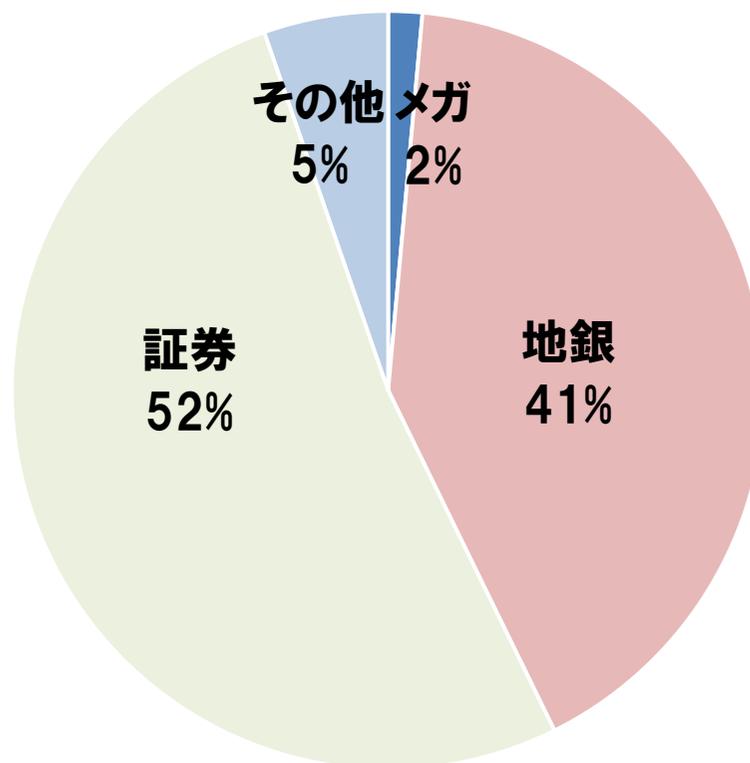
SBIアセットは94%がSBI証券経由

証券・銀行(地銀含む)の
販社数が大幅に増加

 SBI Asset Management



 SBI証券

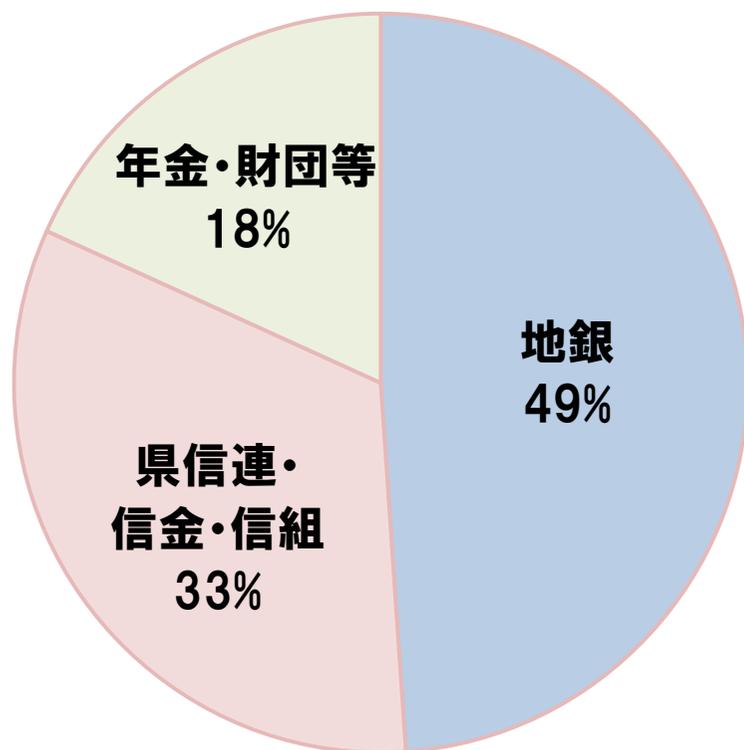


運用会社3社による業務連携の推進-(3)

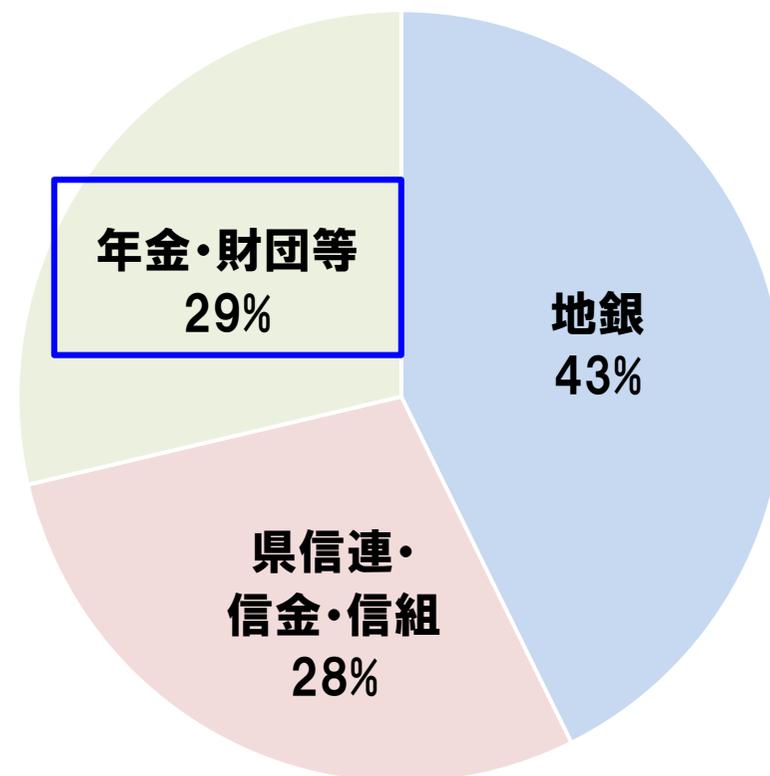
私募投信における販売チャネル戦略

広範な販売基盤の活用により、私募投信ビジネスの拡大を見込む

SBIアセットは地域金融機関が中心



3社連携により販売チャネルの多様化・均衡化を実現

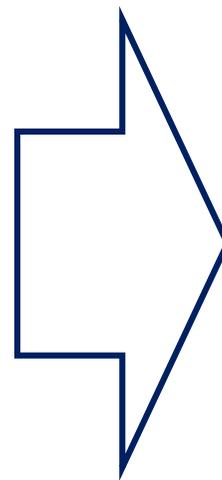
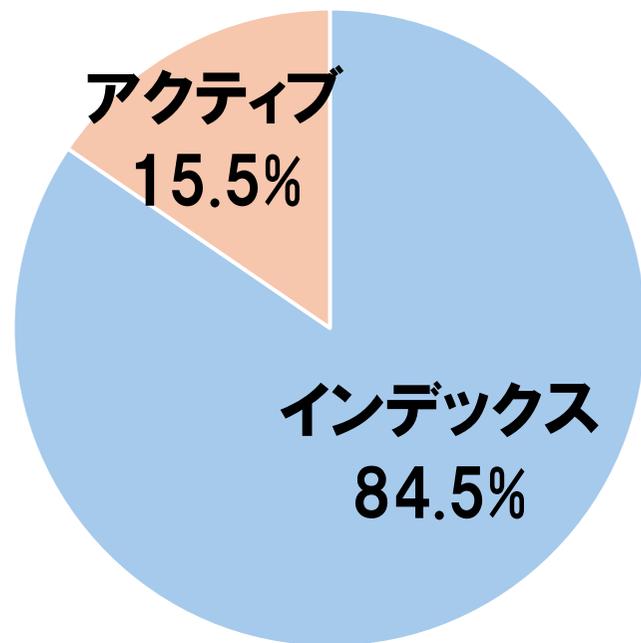


運用会社3社による業務連携の推進-(4) 商品開発・運用力の連携と拡充

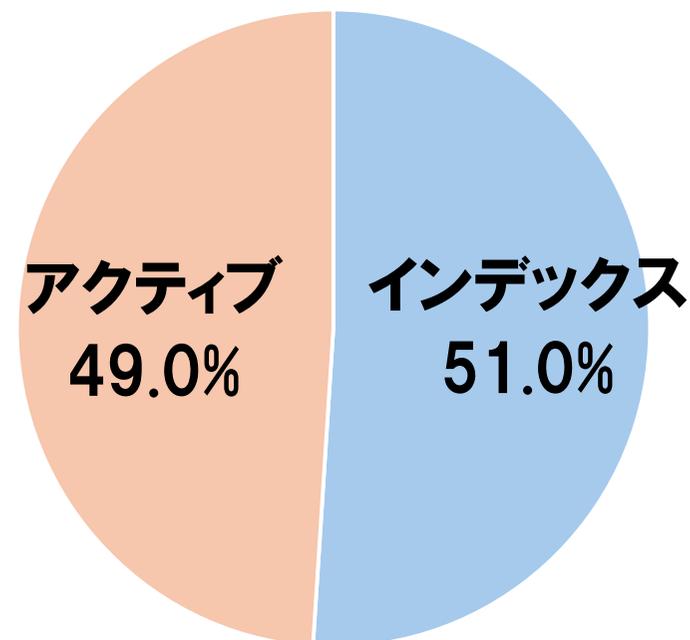
量から質へ 運用モデルの進化



顧客本位・長期投資を支える
低コストモデル



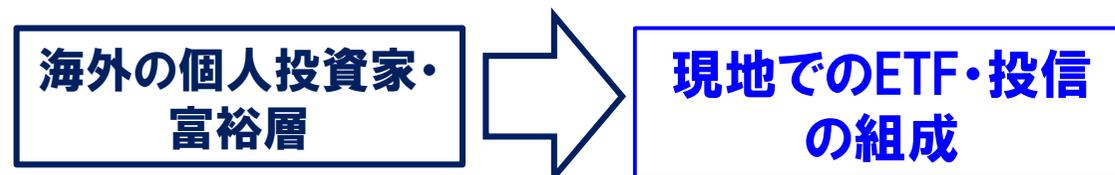
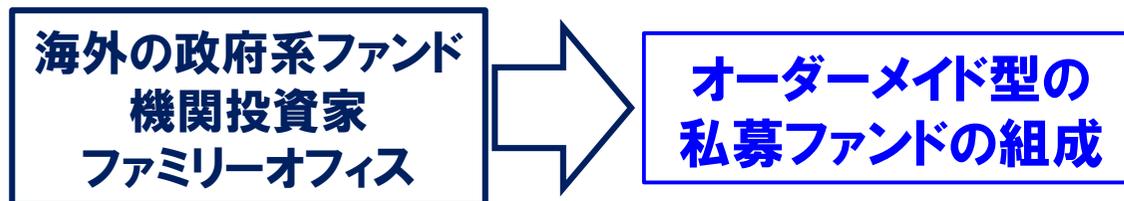
インデックス & アクティブの最適バランス
により、持続的な成長モデルを構築



海外資産の獲得戦略と買収・出資の積極的展開

海外の機関投資家・個人投資家から日本株を中心に運用資産を呼び込む

- 海外の政府系ファンド、機関投資家、ファミリーオフィス向けに、オーダーメイド型の私募ファンドを組成
- 海外の個人投資家向けに、日本株を投資対象としたアクティブ投信・ETFを開発・提供



海外の有力運用会社の買収・出資による事業基盤の拡大

- 機関投資家向けの事業を展開する海外の運用会社の戦略的買収・出資
- 成長ポテンシャルの高いアジア・新興国市場を中心とした拠点の拡大
- オルタナティブ資産に強みを持つ高収益運用会社の買収・提携による、事業ポートフォリオの多様化

**資産運用の枠を超え、未来を創る
「次世代型総合アセット・プラットフォーム」**

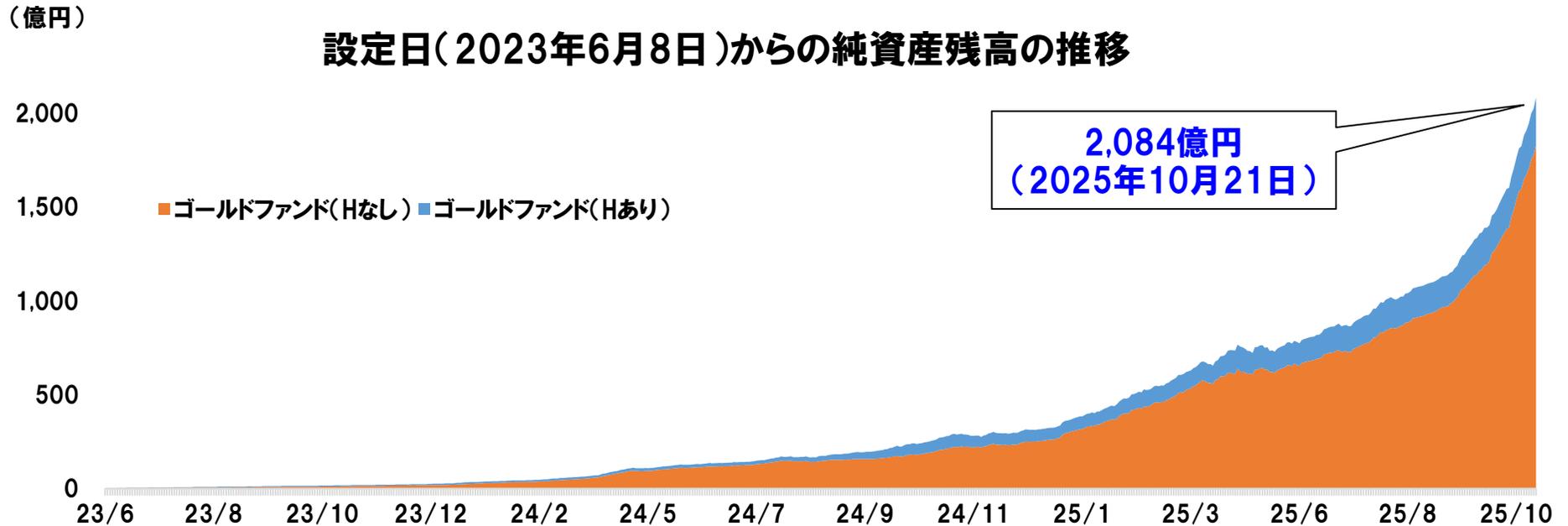
次なる成長ステージへ オルタナティブ運用の拡大

パブリックアセットから、プライベートアセットに展開

	上場(パブリック)	非上場(プライベート)
伝統的資産	株式・債券	プライベートエクイティ・ プライベートデット
非伝統的資産	不動産(REIT)・金(ETF)	私募REIT・インフラ
新興資産	暗号資産(ビットコインETF等)・ セキュリティトークン(ST)・ RWA(Real World Asset)	

SBI・iシェアーズ・ゴールドファンドの純資産残高の推移

設定来2年4ヵ月で純資産2,000億円を突破
 信託報酬:0.1838%は同種同等ファンドの中で最安



<主な競合ファンドとのコスト比較>

ファンド名	信託報酬
SBI・iシェアーズ・ゴールドファンド (為替ヘッジなし/為替ヘッジあり)	0.1838%
ピクテ・ゴールド (為替ヘッジなし/為替ヘッジあり)	0.7890%
三菱UFJ純金ファンド	0.9900%
業界のコモディティ投資ファンド(45本)の平均	0.7152%

当グループ傘下の「オルタナティブ」3社の連携強化

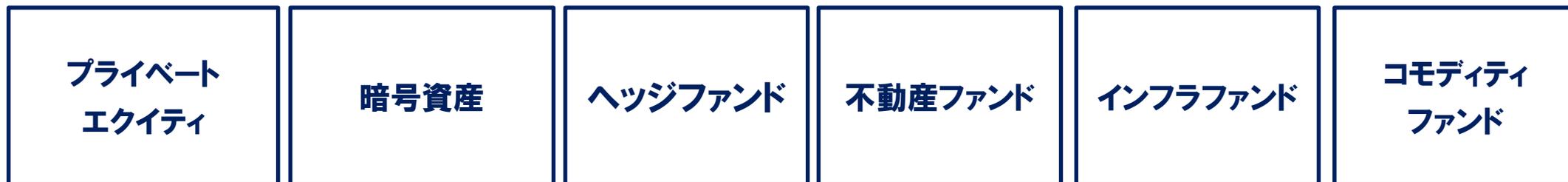


SBI岡三オルタナティブ・ インベストメント	SBIオルタナティブ・ インベストメント・マネジメント	レオス・ キャピタルパートナーズ
プライベート・エクイティ	匿名組合	プライベート・エクイティ
アーリーステージおよびミドルステージ の未公開企業	<p><暗号資産匿名組合ファンド設定※> ビットコイン、イーサリアム、XRP等の 7種類の暗号資産へ投資</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設定日:2022年2月1日 ● 償還日:2025年1月31日 ● パフォーマンス:+25.9% 	上場後も成長の見込まれる レターステージの 未公開企業

※当該暗号資産匿名組合は運用期間満了により償還済み



「オルタナティブ」運用の事業拡大へ



SBIグループ横断の緊密連携とJVパートナー共創で 次世代運用モデルを構築し、革新的プロダクトを創造する

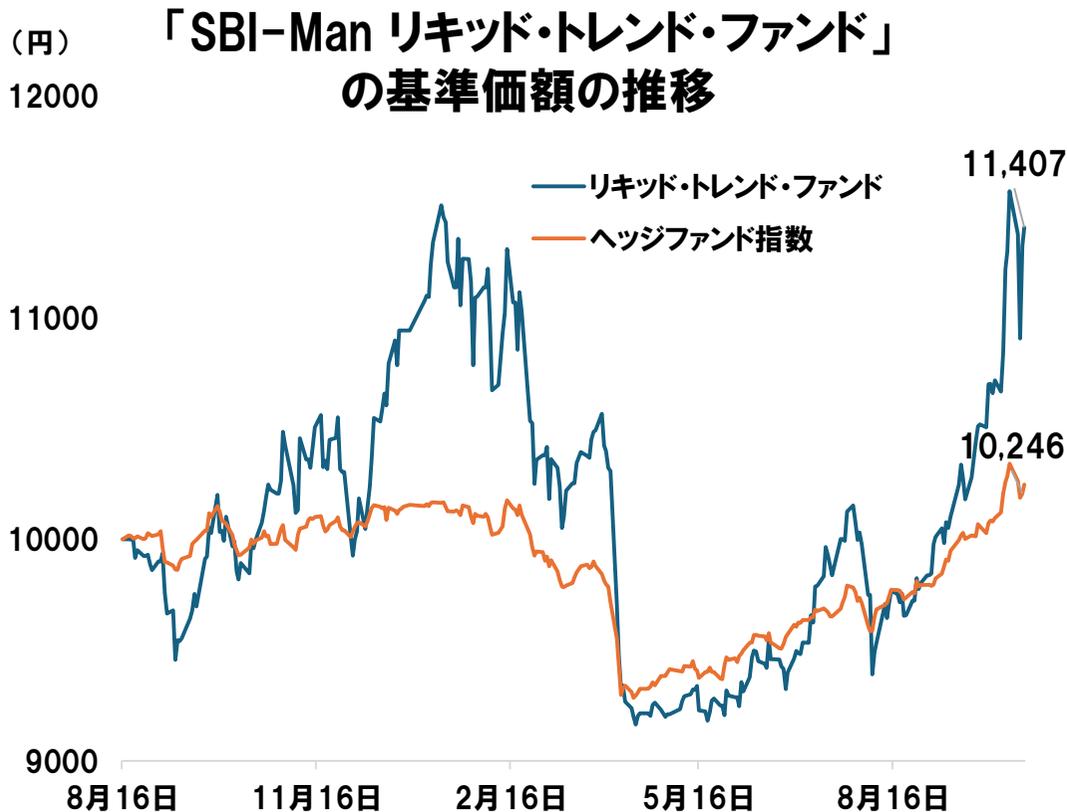


「SBI-Man リキッド・トレンド・ファンド」

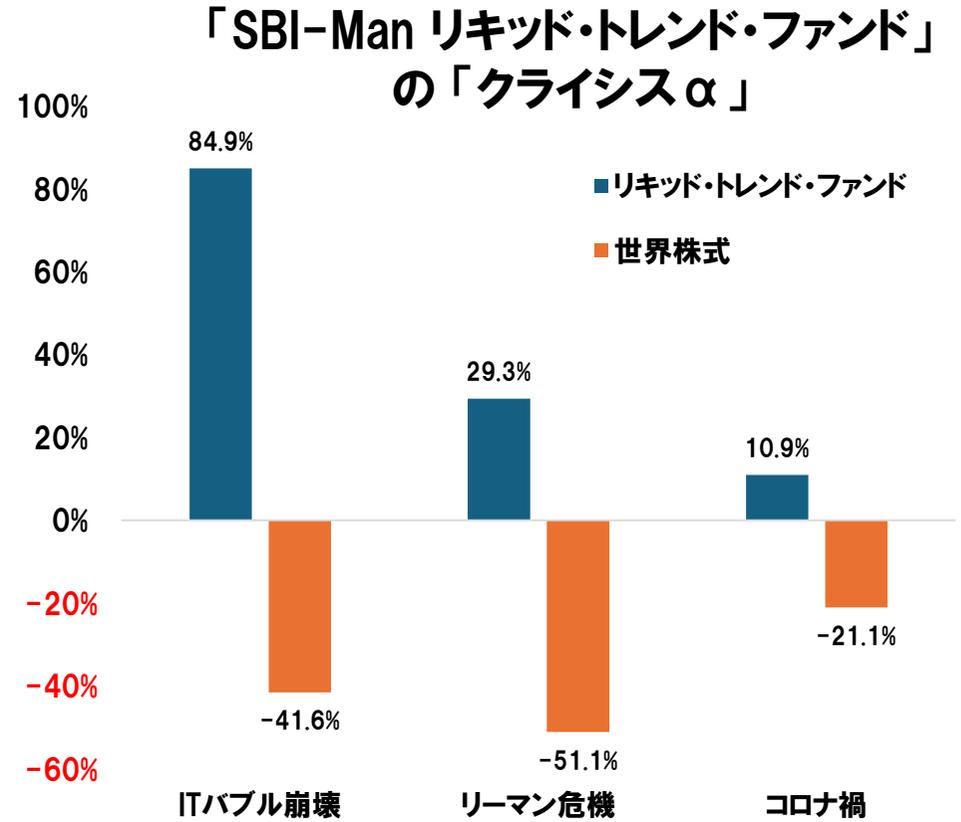
＜クライシスαで注目されるトレンド・フォロ戦略＞

- 世界最大級のオルタナティブ運用会社の英国マン・グループが実質的に運用
- マルチストラテジー型オルタナティブ戦略ファンドでは最安コスト

＜信託報酬は0.998%(税込み)、成功報酬なし＞



設定来(2024年8月16日～2025年10月17日)
ヘッジファンド指数はウエルスアドバイザーの「ヘッジファンド」カテゴリーに含まれる国内投資信託(DC、SMA、ETFを除く)によって構成される指数
出所: ウェルズアドバイザー、SBIアセットマネジメント



リキッド・トレンドはシミュレーション、世界株式はモーニングスター世界株式(配当込み)指数、米ドルベース

出所: マン・グループ、BLOOMBERG

ITバブル崩壊 : 2000年3月末～2003年3月末
リーマン危機 : 2007年6月末～2009年2月末
コロナ禍 : 2020年1月末～2020年3月末

SBI オルタナティブ・ハイインカム・セレクト・ファンド (年4回決算型)

KKRを中心に世界の力が結集
オルタナ運用会社のオールスター



「オルタナティブ資産」の制約を解消

① 流動性:購入・売却が比較的困難

本ファンド → 日次設定・解約が可能

② 高い手数料:管理費用が割高

本ファンド → 同種同等ファンドの中で最安

③ 高い最低投資額

本ファンド → 1万円から投資可能

④ 専門知識の必要性:評価が困難

本ファンド → 世界の英知を結集した安心感

金融の未来を形に

暗号資産ETF・セキュリティトークン・RWAの提供

規制緩和・税制改正後に、暗号資産ETF・ファンドの組成

国内上場の暗号資産ETF
(ビットコイン、XRP等)

SBI・ビットコイン
/XRP ETF
(東証上場)



「金(ゴールド)」&「暗号資産」の
組み合わせ等の投資信託

ゴールド
ETF



フランクリン・
ビットコイン・
ETF(EZBC)



セキュリティトークン(ST)により、不動産から美術品やIPまで すべてが投資対象となる未来

大阪デジタルエクスチェンジのセキュリティトークン市場「START」に
上場する様々な資産クラスのST(セキュリティトークン)の設定を検討

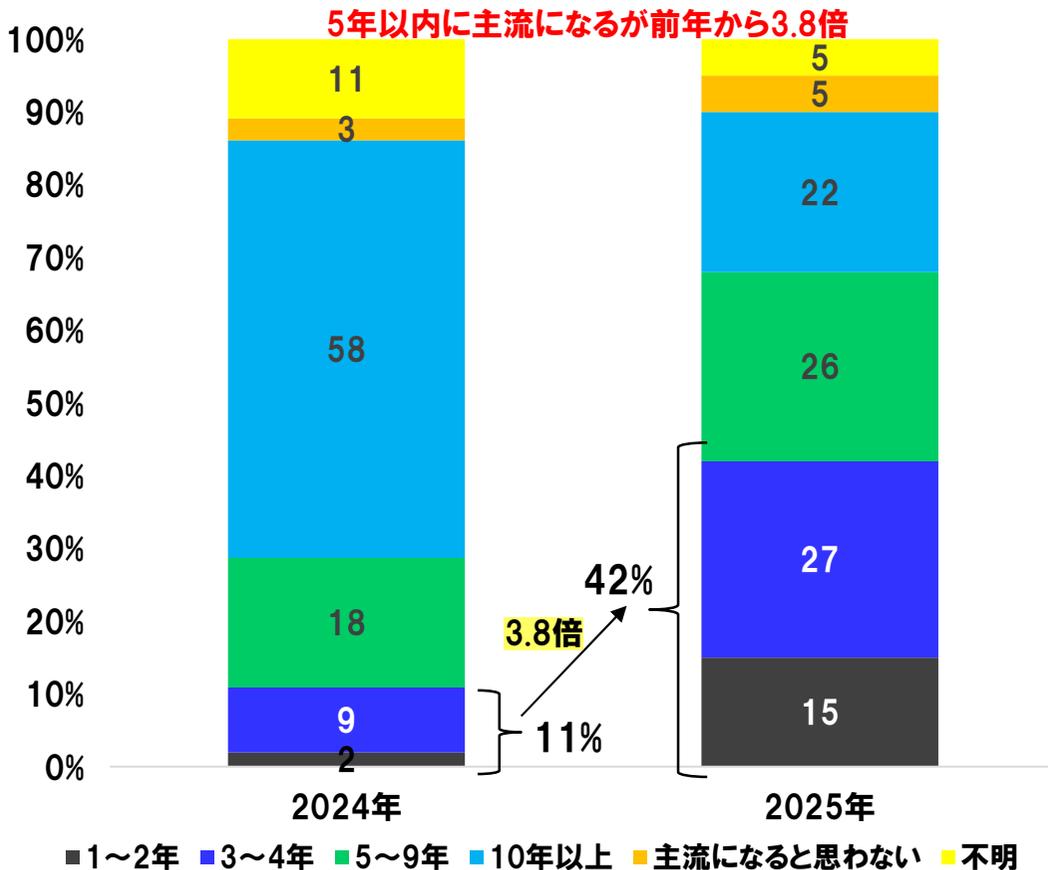
不動産ST	
ワイン、絵画、音楽、ゲーム、 映画などのST	
プライベートアセットST	プライベートエクイティ・ プライベートデットなど



- 次世代の金融インフラを創る - あらゆる資産をオンチェーン化するSBIのデジタル戦略

SBI & Startaleによる合併で、あらゆる資産のトークン化の市場を推進
SBIGAMは多様なオンチェーン化の運用商品を開発し、
投資家の最適な資産形成を支える

世界の機関投資家による
デジタル資産投資が主流化するまでの年数予測



SBIグループとStartale Groupが合併会社を設立



SBIの北尾吉孝会長兼社長
「あらゆる資産をオンチェーン化する」

ブロックチェーンを基盤に、
グローバルで開かれた市場を構築

- ・ 取引時間は「24時間365日」
- ・ 国境を越えた参加が可能
- ・ 完全デジタルで透明性・効率性・流動性を最大化

※いずれも機関投資家回答

出所: State Street 2025 「digital assets and emerging technology study」を基にSBIアセットマネジメントが作成

**- AIが導くパーソナル資産運用 -
投資教育・情報・シミュレーションを融合**

投資情報・教育・AIを融合し、新たな価値を提供



投資助言、資産運用関連ツール



金融・経済・投資教育事業



資産運用メディア



投資家主権を確立する「AIエージェント」の提供へ 投資家一人ひとりに最適な助言と学びを届け、自ら運用を実践できる環境を創出

10年後に1000万円の貯蓄をしたい。手元500万円の場合、どのくらい月利回りで返済は良いか?

良い目標設定ですね 🎯
月額は、
・現在の元金：500万円
・10年後の目標：1,000万円
・積立なし(手元500万円だけを運用)という条件で計算します。

📊 必要月回り：年約2.2% (複利)

📌 ポイント
・年7%前後の複利運用ができれば、10年で500万円→1,000万円に。
・これは「S&P500」(全世界株式)などの長期インデックス投資で十分実現可能な範囲。
・毎月積立を継続すれば、より早く1000万円達成が可能です。

📌 まとめ

目標 10年後に1,000万円
現在の元金 500万円
積立 0万円
必要月回り 年約2.2% (複利)
積立手段 S&P500、全世界株式インデックス、つみたてNISA等が最適

📊 10年後の運用総額 963.6万円
総額 500万円 / 運用 463.6万円

📈 10年後の運用総額 963.6万円

📌 投資がなければ、
例)「S&P500」(全世界株式)で年7%を目途に積立を継続すれば、10年後(2035年頃)の一貫も出すこともできます。

📌 作ってみたい?

📌 作ってください

📌 シミュレーション例：ポートフォリオ案と期待リターン

目標利益(年7%)を目標とする。以下のような期待利益をえる投資先があります(仮定)

投資先	期待利回り
債券(S&P500)	4.00%
株式(米国)	7.00%
株式(日本)	7.00%
株式(世界)	7.00%

この割合で10年間運用したと想定して、年平均リターンが6~8%程度を達成できれば、500万円 → 約1,000万円が目途が見えます。

📌 目標額・リスク管理
・目標額：1000万円(元金500万円)を達成する。毎月積立を継続する必要があります。
・リスク：株式投資は元本が変動する可能性があります。
・運用期間：10年間(2025年～2035年)を目途に運用を継続する必要があります。

📌 おすすめポートフォリオ

目標達成への目安とする運用タイプは、「10年」となります。
おすすめ運用ポートフォリオが確定されました。

📌 あなたにおすすめの運用タイプ

あなたに最適な運用タイプは、以下のようになっています。運用タイプは、ご自身のリスク許容度に合わせて調整可能です。

📊 運用タイプ

保守的
標準的
積極的

📌 運用タイプ

保守的
標準的
積極的

📌 運用タイプ

保守的
標準的
積極的